

会社の概要

● 会社概況 (平成30年3月31日現在)

新京成電鉄株式会社

設立 昭和21年10月23日
本社 〒273-0192
千葉県鎌ヶ谷市くぬぎ山四丁目1番12号
電話 047-389-1111【総務人事部】
http://www.shinkeisei.co.jp/

主な事業内容 鉄道による一般運輸業
土地建物の売買、賃貸業

● 株式の状況 (平成30年3月31日現在)

資本金 5,935,940,378円
発行可能株式総数 24,000,000株
発行済株式の総数 11,023,228株
株主数 3,285名

● 役員 (平成30年6月27日現在)

代表取締役社長	眞下幸人
常務取締役	田口和己
常務取締役	長見真治
取締役	吉川邦彦
取締役	河合義一
取締役	多田聡一
取締役	相原栄
取締役(社外)	花田力
取締役(社外)	三枝紀生
取締役(社外)	中戸川健一
取締役(社外)	野村徹
常勤監査役	柳田信夫
常勤監査役(社外)	山門浩一
監査役(社外)	加藤雅哉
監査役	金子光

携帯ホームページへ
簡単アクセス



株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	6月
同総会議決権行使株主確定日	3月31日
配当金受領株主確定日	期末配当 3月31日 中間配当 9月30日
株主名簿管理人 特別口座の口座 管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町一丁目1番 ☎0120-232-711(通話料無料) 郵送先: 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
上場金融商品 取引所	東京証券取引所 市場第一部 (証券コード9014)
公告の方法	電子公告により行う 公告掲載URL http://www.shinkeisei.co.jp/ (ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)

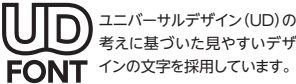
お知らせ

ご注意

- 株主様の住所変更、配当金の振込みのご指定、単元未満株式の買取・買増請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記三菱UFJ信託銀行連絡先にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にでもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

配当金計算書について

同封いたしております「配当金計算書」は、相続特別措置法の規定に基づき作成する「支払通知書」を兼ねております。配当金をお受け取りになった後の配当金額のご確認や確定申告の資料としてご利用いただけます。
なお、配当金を証券口座でお受け取り(株式数比例配分方式)の株主様は、お取引のある証券会社へご確認ください。



株主・投資家の皆様へ

Shin-Keisei Report

第100期 報告書 平成29年4月1日～平成30年3月31日

Contents

- 株主の皆様へ／財務ハイライト 1
- 事業の概況 3
- TOPICS 5
- 連結財務諸表 8
- インフォメーション 9
- 会社の概要／株主メモ 裏表紙

純利益は 26億9千万円を計上

当期の業績について

株主の皆様におかれましては、日頃より、新京成電鉄グループに対しましてご愛顧を賜り、厚く御礼を申し上げます。

第100期(平成29年4月1日から平成30年3月31日まで)の事業の概況をまとめ、「Shin-Keisei Report」としてご報告申し上げます。

当連結会計年度におけるわが国経済は、海外経済の不確実性や金融資本市場変動の影響で先行きは不透明な状況でありましたものの、雇用環境や所得環境の改善が続き、緩やかな回復基調で推移いたしました。

代表取締役社長

眞下 幸人



このような状況のもとで、当社グループでは安全管理体制の更なる充実を根幹とし、引き続き全事業において積極的な営業活動を展開するとともに、経営基盤の強化及び業務の効率化に努めました。

その結果、全事業営業収益は218億2,646万円、前期比2.3%(4億9,002万円)の増収となり、全事業営業

利益は34億8,120万円、前期比5.5%(1億8,146万円)の増益、経常利益は前期比4.5%増の38億646万円、親会社株主に帰属する当期純利益は前期比4.8%増の26億9,256万円となりました。

また、配当につきましては、経営基盤の強化安定を図るとともに、安全輸送の確保やお客さまサービス向上等の設備投資及び将来にわたる企業体質強化のための原資となる内部留保資金の確保等を勘案しながら、株主の皆様へ安定的かつ継続的に利益還元していくことを基本方針としております。この基本方針に基づき、直近の業績動向等を踏まえ、当期の期末配当金を1株につき20円といたしました。

当社は平成29年10月1日を効力発生日として普通株式5株を1株とする株式併合を実施しております。株式併合前を基準日としてお支払いした中間配当金3円は株式併合後に換算いたしますと15円となりますので、年間配当金

は1株につき35円となり、5円の増配に相当いたします。また、期末配当金を株式併合前に換算いたしますと4円となりますので、年間配当金は1株につき7円となり、1円の増配に相当いたします。

今後の取り組みについて

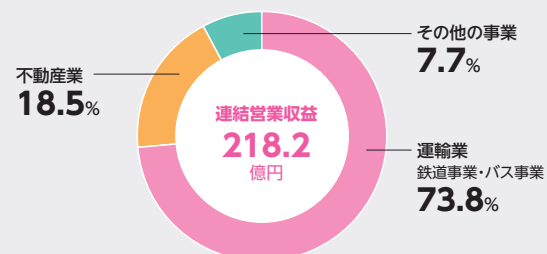
今後の当社グループを取り巻く事業環境は、中長期的には沿線の少子高齢化が一段とすすみ、厳しい状況が予想されます。

このような状況に対応していくため、当社グループでは、「安全管理体制の再構築」「鉄道輸送需要の創出及び不動産の新たな収益源確保」「業務効率化施策の実施」の3つを基本方針とする、中期経営計画「S3計画」(平成28年度から平成30年度)を着実に実行し、沿線地域と企業のブランド力向上を目指してまいります。

平成30年6月

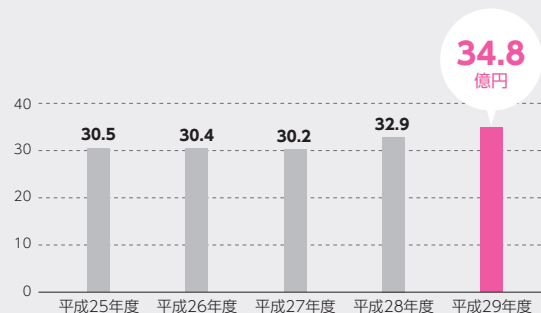
財務ハイライト

● セグメント別営業収益構成比(平成29年度)

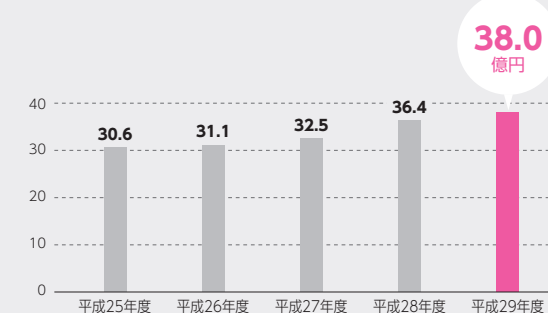


*構成比率は、外部顧客に対する売上高に基づき算出しています。

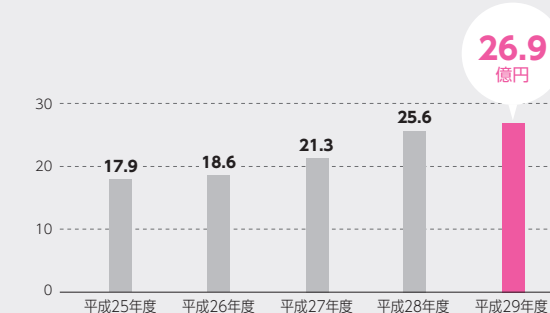
● 連結営業利益の推移(億円)



● 連結経常利益の推移(億円)



● 親会社株主に帰属する当期純利益の推移(億円)



事業の概況



鉄道事業では、安全輸送確保の取り組みとして、デジタルATS工事や五香駅耐震補強工事をすすめました。このほか車両基地への信号保安設備導入工事、前原駅～葉園台駅間の法面補強工事などを実施いたしました。諸施設のバリアフリー化につきましては、八柱駅北口にエレベーターを設置し、くぬぎ山駅及び二和向台駅ホームには内方線付点状ブロックを設置いたしました。お客さまサービス向上策につきましては、駅トイレの洋式化工事や駅照明のLED化工事、自動券売機の一部更新などを実施いたしました。環境負荷の低減に向けた取り組みにつきましては、8800形車両1編成でVVVFインバータ装置の更新と車内照明のLED化を実施し、併せてイメージアップを図るため内装をコーポレートカラーを基調としたものにリニューアルいたしました。



補強工事後の前原駅～葉園台駅間法面

鎌ヶ谷市内の連続立体交差化工事につきましては、平成29年10月21日に下り線高架切替えを実施し運行を開始いたしました。上り線につきましては、平成31年度中の高架切替えを目指して工事をすすめてまいります。

営業面につきましては、ふなっしーとのコラボレーション企画や新京成電鉄70周年記念コンサートを実施いたしましたほか、沿線健康ハイキングや果物狩り、千葉ロッテマリーンズや千葉ジェッツふなばしのラッピング電車の運行、行楽施設の前売り券や企画乗車券の販売などを継続的に実施し、旅客誘致と増収対策に努めました。

バス事業では、路線の新設などに伴いバス車両6両を新造するとともに、環境や高齢者などに配慮した車両へと12両を代替し、高速バス対応車両につきましても1両代替いたしました。船橋新京成バス株式会社では、ふなばしアンデルセン公園や船橋市運動公園プールへの輸送力向上を目的としたダイヤ改正を実施したほか、ふなっしーとのコラボレーション企画を実施いたしました。松戸新京成バス株式会社では、平成29年12月の松戸市立総合医療センター開業に合わせて、



松戸市立総合医療センター

路線の延伸、シャトルバスの運行、及びコミュニティバスの実証運行をそれぞれ開始いたしました。また、貸切バス事業者安全性評価認定制度で初めて三ツ星に認定されました。

以上の結果、営業収益は161億2,434万円、前期比0.7%（1億418万円）の増収となり、営業利益は16億8,200万円、前期比3.8%（6,218万円）の増益となりました。



不動産分譲業では、「新京成タウン八千代緑が丘」の宅地分譲を引き続き行い、21区画を販売いたしましたほか、八千代市の土地を売却いたしました。

不動産賃貸業では、空室へのテナント誘致を積極的に行い、物件稼働率の維持向上に努めました。また、新たな収益源確保の取り組みとして、習志野市津田沼一丁目の複合賃貸ビルを取得したほか、松戸市三矢小台で新規賃貸施設が平成30年3月に稼働いたしました。



新京成タウン八千代緑が丘

以上の結果、営業収益は41億2,515万円、前期比13.5%（4億8,976万円）の増収となり、営業利益は16億7,646万円、前期比7.2%（1億1,258万円）の増益となりました。



コンビニ業では、平成29年7月に鎌ヶ谷大仏駅に出店し、現在8店で10店舗を営業いたしております。また、一部の店舗で営業時間を見直し、利便性と収益力の向上を図りました。このほか、「オープン型宅配便ロッカー」の設置を、引き続きすすめました。

以上の結果、前期の連結子会社の決算期変更の影響もあり、営業収益は17億5,698万円、前期比6.0%（1億1,230万円）の減収となりましたものの、営業利益は9,443万円、前期比9.7%（832万円）の増益となりました。



セブン-イレブン新京成ST新津田沼店

新京成電鉄株式会社 70年の歩み

連載最終回 平成20年代

平成20年代は、
輸送の安全性やサービスの向上を
目指しながらも、
新たな価値を創造する時代でした。

鉄道事業

車両、設備の更新をすすめていきました。車両面では、永らく活躍した800形が退役し、一方で新形式N800形の増備をすすめるとともに、昭和53年に登場した8000形の主電動機を更新することで、全車両をVVVFインバータ制御とし、更なる省エネルギー化を実現しました。設備面では、昭和41年に初の橋上駅として誕生した北習志野駅を新駅舎へと建て替え、その他の駅ではエレベーターの設置をすすめ、全駅でバリアフリールートを確認しました。このほか、駅ホームで異常を知らせる非常通報装置の導入や、列車を自動で停止させる自動列車停止装置の更新など、輸送サービスの充実とともに、輸送の安全性向上も図りました。

平成
21年



北習志野新駅舎供用開始

バス事業

平成15年に新京成電鉄株式会社から分社し、船橋新京成バス株式会社、習志野新京成バス株式会社、松戸新京成バス株式会社の3社体制となり、より地域に密着した事業形態

へと移行しました。平成24年には一部の小型バスを除いて全てのバス車両でバリアフリー低床化を達成しました。また、新バスロケーションシステム「Bus-Vision」のサービスも開始し、よりきめの細かいお客さまサービスを展開しました。平成25年には、東京方面から当社事業エリアへの利便性向上のため船橋新京成バスが深夜急行バスの運行を開始し、その後西船橋駅への乗り入れを開始しました。そのような状況の中、より強固な経営基盤と、更なる事業の効率化を目指すため、船橋新京成バスと習志野新京成バスを合併し、新たに松戸新京成バスとの2社体制として再出発しました。

平成
25年



深夜急行バス運行開始

不動産事業

北習志野駅前ビルや北習志野駅ビル「エキタきたなら」などの建設をすすめたほか、千葉市や八千代市で宅地の分譲を積極的に行いました。また、時代のニーズに合わせ、駅ナカ保育園をエキタきたなら、薬園台駅ビル、元山駅ビル、及び上本郷駅ビルに開設したほか、有料老人ホームを薬園台駅前に開設

しました。不動産事業は引き続き堅調に推移し、当社の経営安定化に大きく寄与しています。

平成
24年



エキタきたなら開業

その他

平成26年にシンボルマーク、コーポレートカラー、ブランドスローガンを制定しました。鉄道車両や駅設備などを順次コーポレートカラーに準じたものへと更新し、イメージアップを図っています。また、グループ全体では、従来の駐車場、駐輪場、ドッグランなどの運営に加え、平成25年からは新たにコンビニ業を開始し、駅売店のコンビニ化をすすめ事業基盤の強化を図りました。今後も当社事業エリアの利便性向上を図っていきます。

平成
26年



新コーポレートカラーの車両登場

新京成 お笑い 寄席を開催

平成30年3月7日に新京成として初めての試みとなる、お笑い芸人による「新京成お笑い寄席」を開催いたしました。笑いは副作用の無い最良の薬であるといわれており、沿線の皆さまに笑いで元気になっていただき、沿線の活性化につながることを目指しております。



新型券売機が登場

平成30年3月より、一部の駅で新型券売機が登場いたしました。訪日外国人の増加等を受けて、日本語のほかに英語、中国語（簡体、繁体）、韓国語、フランス語、スペイン語の合計7言語対応いたしました。



新京成 初! サッカー大会を開催

平成30年3月3日に「2018新京成カップ 沿線4市U-10サッカー大会」を開催いたしました。沿線の子どもたちがサッカーを通じ各市の境を越えて交流することを図るとともに、新たな新京成ファンの獲得も目指しております。



開業70周年記念コンサート「ドリーム子どもフェス」を開催

平成29年12月26日に新京成電鉄開業70周年記念コンサート「ドリーム子どもフェス」を開催いたしました。約13,000名の皆さまからご応募をいただき、誠にありがとうございました。



連結貸借対照表の要旨

(単位:千円)

科 目	第100期 (平成30年3月31日現在)	第99期 (平成29年3月31日現在)
資 産 の 部		
流 動 資 産	11,276,662	10,686,954
固 定 資 産	81,122,602	74,765,450
有 形 固 定 資 産	70,742,245	65,988,778
無 形 固 定 資 産	636,160	587,320
投資その他の資産	9,744,196	8,189,351
資 産 合 計	92,399,265	85,452,405
負 債 の 部		
流 動 負 債	39,527,011	35,775,032
固 定 負 債	12,823,228	12,926,582
負 債 合 計	52,350,240	48,701,615
純 資 産 の 部		
株 主 資 本	35,989,688	33,655,605
その他の包括利益累計額	4,059,337	3,095,184
純 資 産 合 計	40,049,025	36,750,790
負 債 純 資 産 合 計	92,399,265	85,452,405

(注) 1. 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。
2. 有形固定資産の減価償却累計額 66,947,407千円 65,414,185千円
3. 1株当たり純資産額* 3,647円98銭 3,347円31銭

※当社は、平成29年10月1日付で普通株式5株につき1株の割合で株式併合を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、「1株当たり純資産額」を算定しております。

連結損益計算書

(単位:千円)

科 目	第100期 (平成29年4月1日から 平成30年3月31日まで)	第99期 (平成28年4月1日から 平成29年3月31日まで)
営 業 収 益	21,826,461	21,336,432
営 業 費	18,345,256	18,036,695
営 業 利 益	3,481,204	3,299,736
営 業 外 収 益	467,215	506,320
営 業 外 費 用	141,952	162,246
経 常 利 益	3,806,467	3,643,811
特 別 利 益	102,366	154,390
特 別 損 失	102,099	152,676
税金等調整前当期純利益	3,806,734	3,645,525
法人税、住民税及び事業税	1,110,507	1,054,461
法 人 税 等 調 整 額	3,659	22,194
当 期 純 利 益	2,692,568	2,568,869
親会社株主に帰属する当期純利益	2,692,568	2,568,869

(注) 1. 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。
2. 1株当たり当期純利益* 245円25銭 233円96銭

※当社は、平成29年10月1日付で普通株式5株につき1株の割合で株式併合を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、「1株当たり当期純利益」を算定しております。

連結キャッシュ・フロー計算書の要旨

(単位:千円)

科 目	第100期 (平成29年4月1日から 平成30年3月31日まで)	第99期 (平成28年4月1日から 平成29年3月31日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	6,630,660	4,872,158
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,355,443	△2,804,328
財務活動によるキャッシュ・フロー	△902,365	△622,954
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,372,852	1,444,875
現金及び現金同等物の期首残高	5,962,337	4,517,461
現金及び現金同等物の期末残高	7,335,189	5,962,337

(注) 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

IRサイトのご案内

ホームページアドレス <http://www.shinkeisei.co.jp/ir/>



IRサイトをリニューアルしました！

当社は株主様、投資家様に、より見やすく、そしてわかりやすいIRサイトを目指し、リニューアルいたしました。「業績・財務」データのページや、当社の概要を紹介した「新京成早わかり」等のページを新設いたしましたので、ぜひご覧ください。

単元未満株式(1～99株)をご所有の株主様へ

当社株式は、証券市場での売買、株主総会における議決権行使の権利及び株主優待を受け取る権利が**100株単位**となっております。

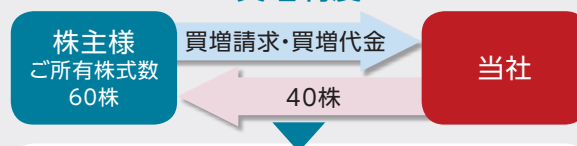
当社では単元未満株式をご所有の株主様に対し、単元未満株式を単元株式(100株)までお買い求めいただける「単元未満株式買増制度」を採用しておりますので、ぜひご確認ください。

また、単元未満株式を売却できる「単元未満株式買取制度」もございますので、併せてご確認ください。

この制度をご利用になる場合は、原則お取引の証券会社にお問い合わせください。特別口座に記録された単元未満株式については、下記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問い合わせください。

特別口座に記録されている株主様のお問い合わせ先
三菱UFJ信託銀行 本支店 または三菱UFJ信託銀行 証券代行部

買増制度



ご所有株式が100株に！

- ・市場での売買が可能に
- ・株主総会での議決権行使が可能に
- ・株主優待が受け取れるように

0120-232-711 (通話料無料)

株主優待制度のご案内

優待の種類

1 株主優待パス(定期券式)

①電車・自動車共通全線パス

- ・有効期間中何度でもご乗車いただけます。
- ・記名ご本人様以外の方もご利用いただけます。(1枚で一人様有効です)
- ・新京成電鉄電車全線と船橋新京成バス・松戸新京成バスの各路線(深夜急行バス・コミュニティバス等を除く)でご利用いただけます。
- ・深夜バスご利用の際には割増し分の運賃をお支払いいただきます。

②電車全線パス

- ・有効期間中何度でもご乗車いただけます。
- ・記名ご本人様以外の方もご利用いただけます。(1枚で一人様有効です)
- ・新京成電鉄電車全線でご利用いただけます。
- ・バスのご乗車はできません。

2 株主優待乗車証(回数券式)

- ・有効期間中新京成電鉄の電車に1枚で一人様1回(片道)ご乗車いただけます。
- ・新京成電鉄電車全線でご利用いただけます。
- ・バスのご乗車はできません。

発行基準

ご所有株式数	優待乗車証の種類	有効区間	発行枚数
100株以上200株未満	回数券式 (1枚1乗車有効)	電車全線	2枚
200株以上1,000株未満	//	//	5枚
1,000株以上2,000株未満	//	//	15枚
2,000株以上3,000株未満	//	//	30枚
3,000株以上4,200株未満	//	//	45枚
4,200株以上7,800株未満	定期券式	//	1枚
7,800株以上	//	電車全線 当社グループのバス全線*	1枚

※深夜急行バス・コミュニティバス等のご利用いただけません。
深夜バスをご利用の際は割増分運賃をお支払いいただきます。

発行基準日、発行日及び有効期間

対 象	発送時期	有効期間
3月31日現在の株主様	6月中旬	7月1日～12月31日
9月30日現在の株主様	12月中旬	1月1日～6月30日

IRカレンダー

